

令和8年度 全国保健師長会活動方針

急速に少子高齢化・人口減少が進む中、震災や感染症の発生、気候変動に伴う自然災害の発生や健康への影響など、これまで経験したことがない課題に対峙することとなり、保健師に求められる役割も拡大の一途をたどっております。一方、ライフスタイルの多様化により、個人の健康に大きな影響を与える家族や地域のかたちも変化しており、生産年齢人口の減少も踏まえた2040年を見据えた保健師活動が肝要となっております。

これからの公衆衛生看護活動においては、地域住民のヘルスリテラシーを高め、住民自らが健康を維持できる活動への支援やヘルスプロモーションの理念に基づいた地域づくり、地域の潜在化した問題を顕在化させ多職種連携による支援、つながり・支え合いなどを重視しながら、未来につながる健康なまちづくりを創造し、展開していく必要があります。

また、それらを展開できる保健師の育成及びサポート体制の構築等は喫緊の課題であり、OJTやジョブローテーションのほか、自治体を越えた連携・協働による取り組みの推進やICTを活用した活動の展開など、これまでのやり方を転換させるべき時代が到来しています。地域で活躍する専門職が増える中において、保健師としてのアイデンティティの獲得、公衆衛生看護技術の段階的な獲得や、共に育ちあえる職場風土づくりなどとともに、暗黙知を形式知化し、定着させるための現任教育の充実及び保健師の役割・魅力発信も不可欠です。

これらの課題に対して、全国保健師長会では、会員相互のネットワークを重要視しながら、時代の要請に柔軟に応える保健師活動を迫及し、保健師の未来を見据えた、効果的な保健師の人材育成とそれを支える体制の強化、地域に責任を持ち健康格差の解消を目指した保健師活動の推進などを図って参ります。

活動テーマ

未来を見据えた公衆衛生看護活動の展開
～予防活動の実践、そして地域に根づく保健師活動の継承～

活動方針

1 地域保健活動の推進にかかるマネジメント機能の発揮に向けた取り組みの推進

- ・地域ケアシステムの構築や健康課題の改善に向けた組織内外の関係者や関係機関の総合調整など、効果的、効率的な活動を実践し、発信する
- ・健康危機管理における平時からの体制強化に向けた活動に取り組む

2 地域診断と科学的根拠に基づく公衆衛生看護活動及び人材育成の推進

- ・各自治体の公衆衛生看護活動の推進や体系的な人材育成を実践するため、統括保健師の配置を促進するとともにその成果を明確化し、統括保健師の役割発揮を推進する
- ・地区特性や科学的根拠に基づく、地区活動に立脚した効果的な公衆衛生看護活動を発信する
- ・保健師のコアバリュー・コアコンピテンシーを活用し、現任教育の充実に向けた取り組みを推進する
- ・保健師活動におけるデジタル化・ICT活用事例等の情報を発信する

3 自治体間のネットワークの構築やブロック、支部における効果的な活動の推進

- ・効果的な公衆衛生看護活動や人材育成等に関する情報交換・研修等の主体的活動を推進する

4 地域の公衆衛生看護活動の推進に向けた会からの情報発信の促進

- ・会員が地域の全体像、時代を見据えたビジョンを構築するために必要な各種情報を発信する